



2023年3月期 第3四半期決算説明

2023年2月8日

 **ダイダン**株式会社

目次

連結業績サマリー

第3四半期決算ハイライト

通期業績予想

<参考> DATA FILE

2023年3月期
第3四半期決算

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

(単位：百万円)

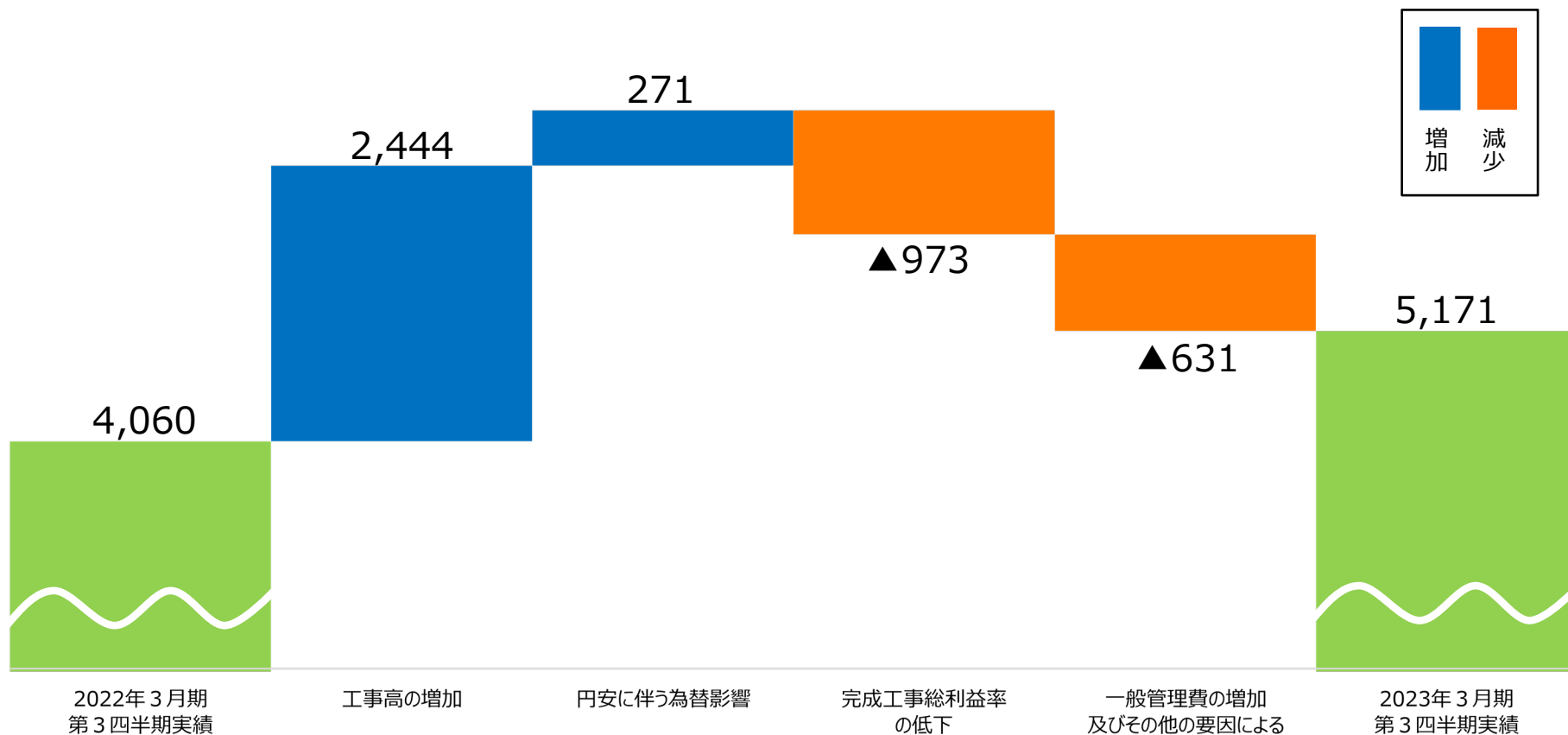
	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	増減率
期首繰越工事高	143,043	163,782	20,738	14.5%
受注工事高	150,118	165,583	15,464	10.3%
完成工事高	108,257	130,088	21,831	20.2%
完成工事総利益	13,562	15,476	1,914	14.1%
完成工事総利益率(%)	12.5%	11.9%	▲0.6p	－
営業利益	4,060	5,171	1,110	27.4%
営業利益率(%)	3.8%	4.0%	0.2p	－
経常利益	4,399	5,851	1,451	33.0%
経常利益率(%)	4.1%	4.5%	0.4p	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,059	3,999	940	30.7%
四半期利益率(%)	2.8%	3.1%	0.2p	－

事業環境および当社の概要

- 受注工事高は、企業の設備投資意欲の回復を背景に、再開発案件や産業施設案件を中心に受注が好調に推移した結果、前期と比べ大幅に増加しました。
- 資機材価格の高騰により想定した利益改善が進まず、完成工事総利益率が低下しましたが、前期からの繰越工事および期中の受注工事の増加に伴う完成工事高の増加を受け、完成工事総利益は増加しました。
- 上記の結果、増収増益となりました。

連結営業利益増加の内訳

(単位：百万円)



- 工事高の増加は、空港、医療関連施設および産業施設などの大型工事が順調に進捗したことによります。
- 前期末から始まった急速な円安は当期においても高止まりし、在外支店の外貨建売上高が増加し、利益に寄与しました。
- 当期に進捗した工事において、資機材価格の高騰により想定した利益改善が進まず、完成工事総利益率は低下しました。

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	増減率	
受注工事高	電気工事	18,347	24,212	5,864	32.0%	
	管工事	空調工事	98,247	104,530	6,283	6.4%
		水道衛生工事	33,523	36,840	3,317	9.9%
		小計	131,770	141,370	9,600	7.3%
	合計	150,118	165,583	15,464	10.3%	
完成工事高	電気工事	16,621	21,921	5,300	31.9%	
	管工事	空調工事	64,967	78,786	13,819	21.3%
		水道衛生工事	26,668	29,380	2,711	10.2%
		小計	91,636	108,167	16,531	18.0%
	合計	108,257	130,088	21,831	20.2%	
繰越工事高	電気工事	23,611	25,753	2,141	9.1%	
	管工事	空調工事	119,217	131,378	12,160	10.2%
		水道衛生工事	42,074	42,144	70	0.2%
		小計	161,292	173,522	12,230	7.6%
	合計	184,904	199,276	14,372	7.8%	

- 空港、工場、データセンター、海外のリゾート施設の熱源工事の受注などにより、電気工事・管工事ともに受注工事高は増加しました。
 - 空港、工場、データセンターなどの大型工事が順調に進捗したことにより、電気工事・管工事ともに完成工事高は増加しました。
 - 前期からの繰越工事および期中の受注工事の増加により、繰越工事高は増加しました。
- ※管工事の内訳として、空調工事と水道衛生工事の区分を設けています。

連結経営指標等（財政状態）の概要

（単位：百万円）

	2022年3月期	2023年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	77,242	79,310	2,068	2.7%	利益剰余金の増加など
総資産	139,099	139,380	280	0.2%	
1株当たり純資産 (BPS)	3,603.11円	3,696.92円	93.80円	2.6%	
株価純資産倍率 (PBR)	0.58倍	0.59倍	－	－	(参考) 2022年3月 株価終値：2,099円 2022年12月 株価終値：2,192円
自己資本比率	55.4%	56.8%	1.4p	－	

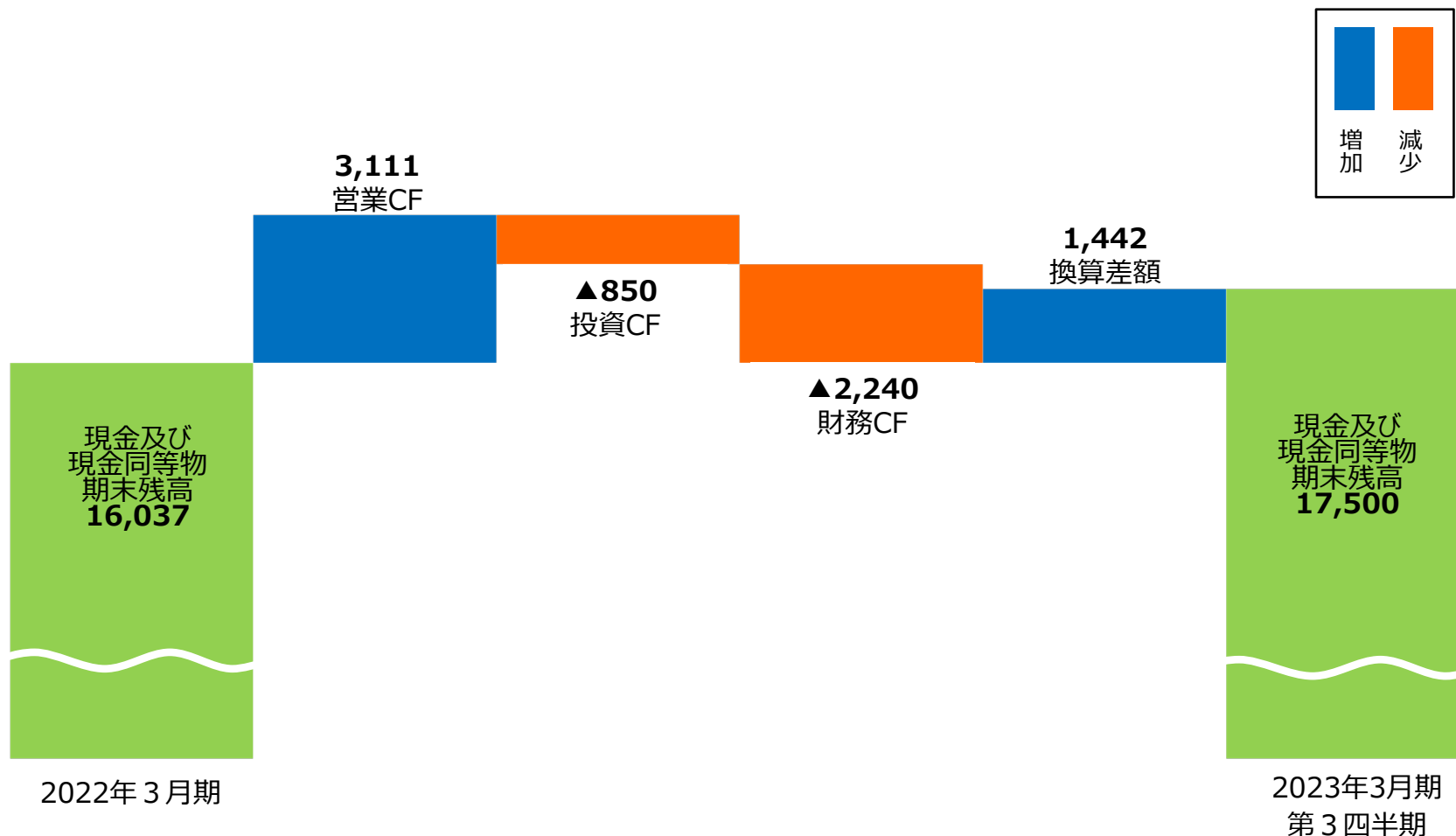
連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要

（単位：百万円）

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	▲10,130	3,111	13,241	－	売上債権の回収が順調に進んだため
投資活動によるCF	▲1,299	▲850	449	－	北陸支店、技術研究所実証実験棟などの建替
財務活動によるCF	▲3,196	▲2,240	955	－	配当金の支払いのため
現金及び現金同等物の期首残高	31,747	16,037	▲15,710	▲49.5%	
現金及び現金同等物の増減額	▲14,614	1,462	16,076	－	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	17,133	17,500	366	2.1%	

キャッシュ・フローの内訳（現金及び現金同等物期末残高の推移）

（単位：百万円）



- 営業CF（売上債権の順調な回収）、換算差額（円安の影響）による増加が、投資CF（北陸支店、技術研究所実証実験棟などの建替）、財務CF（配当の支払）による減少を上回りました。
- 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と貸出コミットメントライン契約を締結しています。

2023年3月期
第3四半期決算

第3四半期決算 ハイライト

リニューアル・直接・官庁工事の状況

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期	前期比	
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率
リニューアル工事	72,060	17,164	89,224	66,240	▲5,820	▲8.1%
リニューアル比率(%)	48.0%	51.2%	48.6%	40.0%	▲ 8.0p	－
大規模・中規模 の改修工事	46,859	7,746	54,605	31,913	▲14,945	▲31.9%
小規模 の改修工事	25,201	9,418	34,619	34,327	9,125	36.2%
一般工事	78,057	16,385	94,443	99,342	21,284	27.3%
受注工事高合計	150,118	33,549	183,668	165,583	15,464	10.3%
うち、直接受注	73,898	13,087	86,985	70,540	▲3,357	▲4.5%
直接比率(%)	49.2%	39.0%	47.4%	42.6%	▲ 6.6p	－
うち、官庁工事	25,836	5,566	31,403	15,296	▲10,540	▲40.8%
官庁比率(%)	17.2%	16.6%	17.1%	9.2%	▲ 8.0p	－

- リニューアル工事は、小規模案件は増加したものの、前期の大型案件受注の反動減により、前期比で減少しました。
- 一般工事は、国内の再開発や産業施設および海外の大型リゾート施設の熱源工事の受注により、前期比で増加しました。
- 直接受注は、民間の大型工事の受注に注力した結果、前期比で減少しました。
- 官庁工事は、前期の大型案件受注の反動減により、前期比で減少しました。

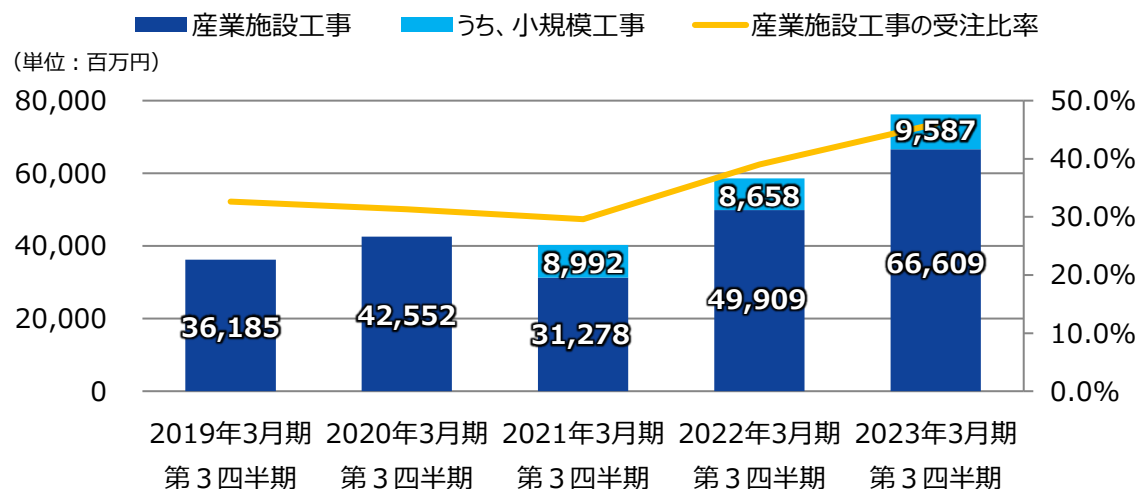
産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期	前期比	
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率
産業施設工事合計	58,567	16,066	74,633	76,196	17,629	30.1%
(受注比率%)	39.0%	47.9%	40.6%	46.0%	7.0p	-
受注工事高合計	150,118	33,549	183,668	165,583	15,464	10.3%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しています。

産業施設工事の受注工事高の推移



- 世界的な半導体需要を背景に、国内の半導体生産工場の建設が活発化しています。またデータセンターなどのDX関連の建設投資は引き続き堅調に推移しています。
- 当期におきましても、これらの大型案件を複数件受注しています。
- 上記の結果、直近5年で最も高い受注工事高ならびに受注比率となっています。

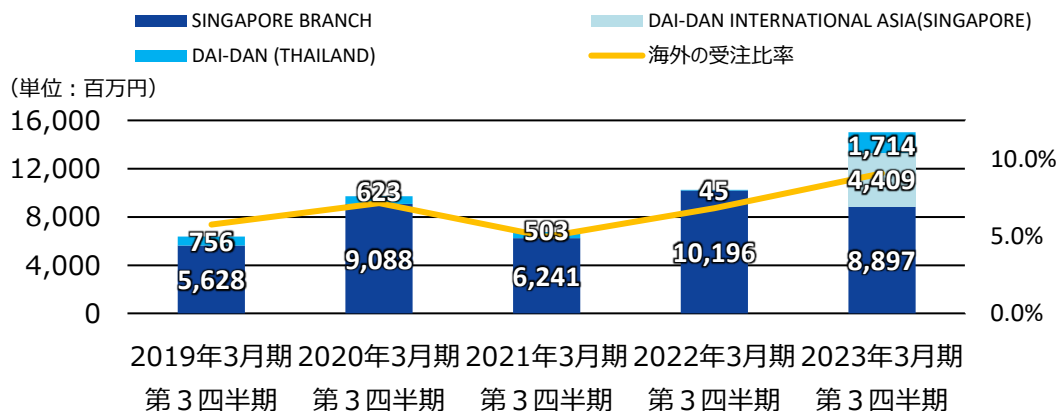
海外事業の状況

- 海外事業は、シンガポール（支店、およびDAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.）、タイ（DAI-DAN（THAILAND）Co.,LTD.）およびベトナム（DAI-DAN（VIETNAM）Co.,LTD.（非連結））を拠点に活動しています。
- 新たな海外拠点として、今年度、台湾大暖股份有限公司（台湾）を設立しました。
- 2023年1月26日取締役会において、シンガポールを中心に設備工事業を行うPresico Engineering Pte.Ltd.と株式譲渡契約を締結し、持分法適用関連会社とすることを決定致しました。同社が有するシンガポール設備工事市場での実績、および技術力・商圈等との相乗効果を通じ、事業拡大を図り、企業価値向上を目指して参ります。

（単位：百万円）

	2022年3月期			2023年3月期	前期比	
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率
海外工事合計（連結）	10,241	1,145	11,386	15,020	4,779	46.7%
（受注比率%）	6.8%	3.4%	6.2%	9.1%	2.2p	-
受注工事高合計	150,118	33,549	183,668	165,583	15,464	10.3%

海外の受注工事高の推移(連結)



- シンガポールは、新型コロナウイルスと共生する「ウィズコロナ」路線へ移行し、コロナ前の状況に戻りました。
- 当期はシンガポールにおいて大型リゾート施設の熱源工事などの受注があり、前期比で増加しました。
- タイにおいてもコロナ前の状況に戻り、受注は順調に増加しています。
- 上記の結果、直近5年で最も高い受注工事高ならびに受注比率となっています。

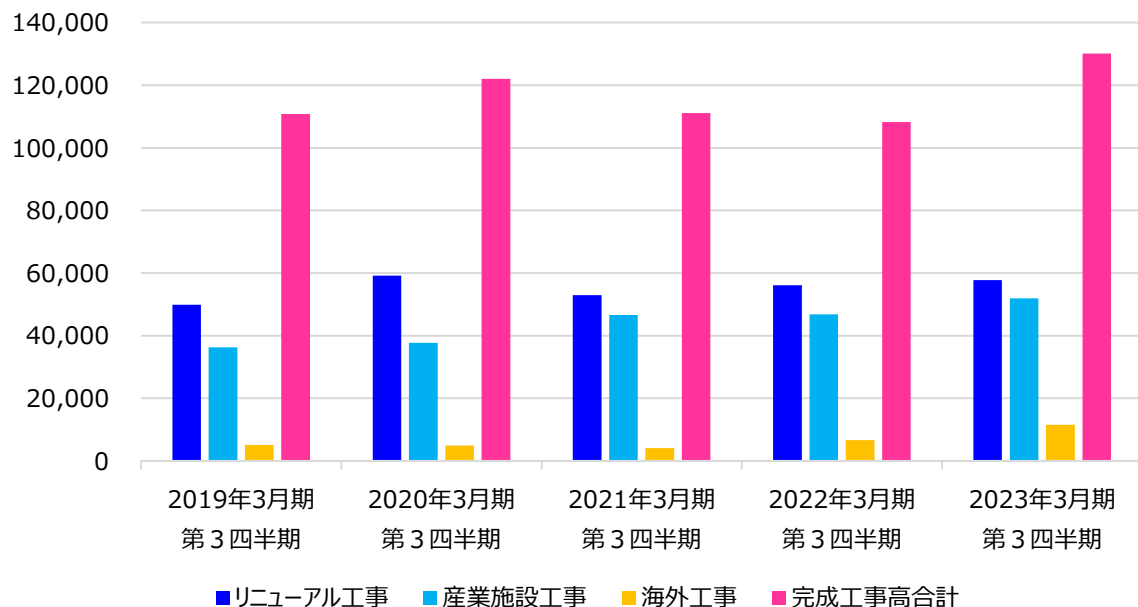
(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	108,257	100.0%	130,088	100.0%	21,831	20.2%
うち（リニューアル工事）	56,129	51.8%	57,717	44.4%	1,588	2.8%
（産業施設工事）	46,869	43.3%	51,928	39.9%	5,058	10.8%
（海外工事）	6,674	6.2%	11,602	8.9%	4,928	73.8%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

連結完成工事高

(単位：百万円)

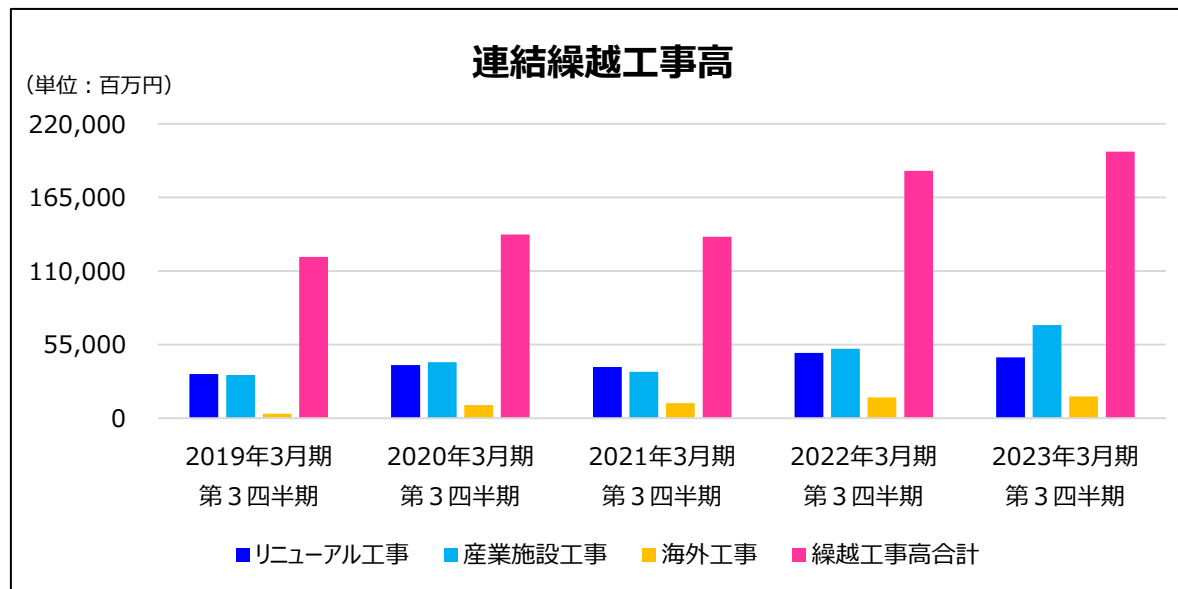


- リニューアル工事、産業施設工事および海外工事の増加は、主に空港、工場やデータセンターの大型工事が進捗したことによります。特に海外工事は大幅に増加しました。
- 上記のほかにも、医療関連施設などの大型工事が進捗したことにより、当期の完成工事高は増加しました。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	143,043	—	163,782	—	20,738	14.5%
受注工事高	150,118	—	165,583	—	15,464	10.3%
完成工事高	108,257	—	130,088	—	21,831	20.2%
繰越工事高	184,904	100.0%	199,276	100.0%	14,372	7.8%
うち (リニューアル工事)	48,785	26.4%	45,419	22.8%	▲3,366	▲6.9%
(産業施設工事)	51,953	28.1%	69,528	34.9%	17,574	33.8%
(海外工事)	15,434	8.3%	16,257	8.2%	823	5.3%
うち当期第4半期 完成予定	47,447	—	47,345	—	▲102	▲0.2%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- 当期は、過去5年間に於いて最も多い繰越工事高があり、豊富な工事量を確保しています。
- 医療関連施設、再開発や産業施設などの大規模案件を中心に、来期以降の出来高に寄与する手持ち工事も豊富に抱えています。

四半期ごとの実績状況

(単位：百万円)

		2022年3月期	2023年3月期	増減	増減率
受注工事高	4～6月	44,698	66,712	22,014	49.3%
	7～9月	62,725	58,253	▲4,471	▲7.1%
	10～12月	42,695	40,617	▲2,078	▲4.9%
	4～12月	150,118	165,583	15,464	10.3%
完成工事高	4～6月	27,257	35,342	8,085	29.7%
	7～9月	38,523	47,348	8,825	22.9%
	10～12月	42,477	47,398	4,921	11.6%
	4～12月	108,257	130,088	21,831	20.2%
営業利益	4～6月	528	818	289	54.7%
	7～9月	2,240	2,832	592	26.4%
	10～12月	1,292	1,521	229	17.7%
	4～12月	4,060	5,171	1,110	27.4%

- 4～6月の業績につきましては、再開発や産業施設案件を順調に獲得し、受注工事高は前期比で増加しました。前期からの手持ち工事も順調に進捗したことから、完成工事高、営業利益ともに前期比で増加しました。
- 7～12月の業績につきましては、4～6月の受注工事高が大きく上回ったことを受け、施工体制を考慮した受注活動の結果、受注工事高は前期比で減少しました。一方、引続き手持ち工事が順調に進捗したことにより、完成工事高、営業利益ともに前期比で増加しました。

2023年3月期
第3四半期決算

2023年3月期
通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期			前期比 通期	
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	第4四半期 (予想)	通期 (予想)	増減	増減率
受注工事高	150,118	33,550	183,668	165,583	27,417	193,000	9,332	5.1%
完成工事高	108,257	54,672	162,929	130,088	49,912	180,000	17,071	10.5%
完成工事総利益	13,562	7,161	20,723	15,476	7,024	22,500	1,777	8.6%
完成工事総利益率(%)	12.5%	13.1%	12.7%	11.9%	14.1%	12.5%	▲0.2p	－
営業利益	4,060	3,524	7,584	5,171	3,329	8,500	916	12.1%
営業利益率(%)	3.8%	6.4%	4.7%	4.0%	6.7%	4.7%	0.1p	－
経常利益	4,399	3,696	8,095	5,851	2,849	8,700	605	7.5%
経常利益率(%)	4.1%	6.8%	5.0%	4.5%	5.7%	4.8%	▲0.1p	－
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,059	2,719	5,778	3,999	2,001	6,000	222	3.8%
当期純利益率(%)	2.8%	5.0%	3.5%	3.1%	4.0%	3.3%	▲0.2p	－

業績予想の前提

- 2022年11月8日に発表した決算短信から変更はございません。

株主還元に対する方針

- 利益配当による株主への利益還元を経営上の最重要施策と考え、健全な財務体質の構築に努めています。
- 中期経営計画における数値目標のとおり配当性向30%以上を配当方針としています。

配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	45.00	45.00	90.00	1,949	30.8%	2.7%
2022年3月期	45.00	45.00	90.00	1,935	33.3%	2.5%
2023年3月期 (期末は予想)	45.00	55.00	100.00	—	35.7%	—

- 当社は2023年3月4日に創業120周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。
つきましては、これまでご支援いただきました株主の皆様へ感謝の意を表すため、今年度における当社の配当金は、普通配当90円に創業120周年記念配当10円を加え、1株につき年間100円（中間配当45円、期末配当55円）とさせていただきます。

自己株式取得について

- 株主還元及び資本効率の向上を目的とし、適宜検討してまいります。

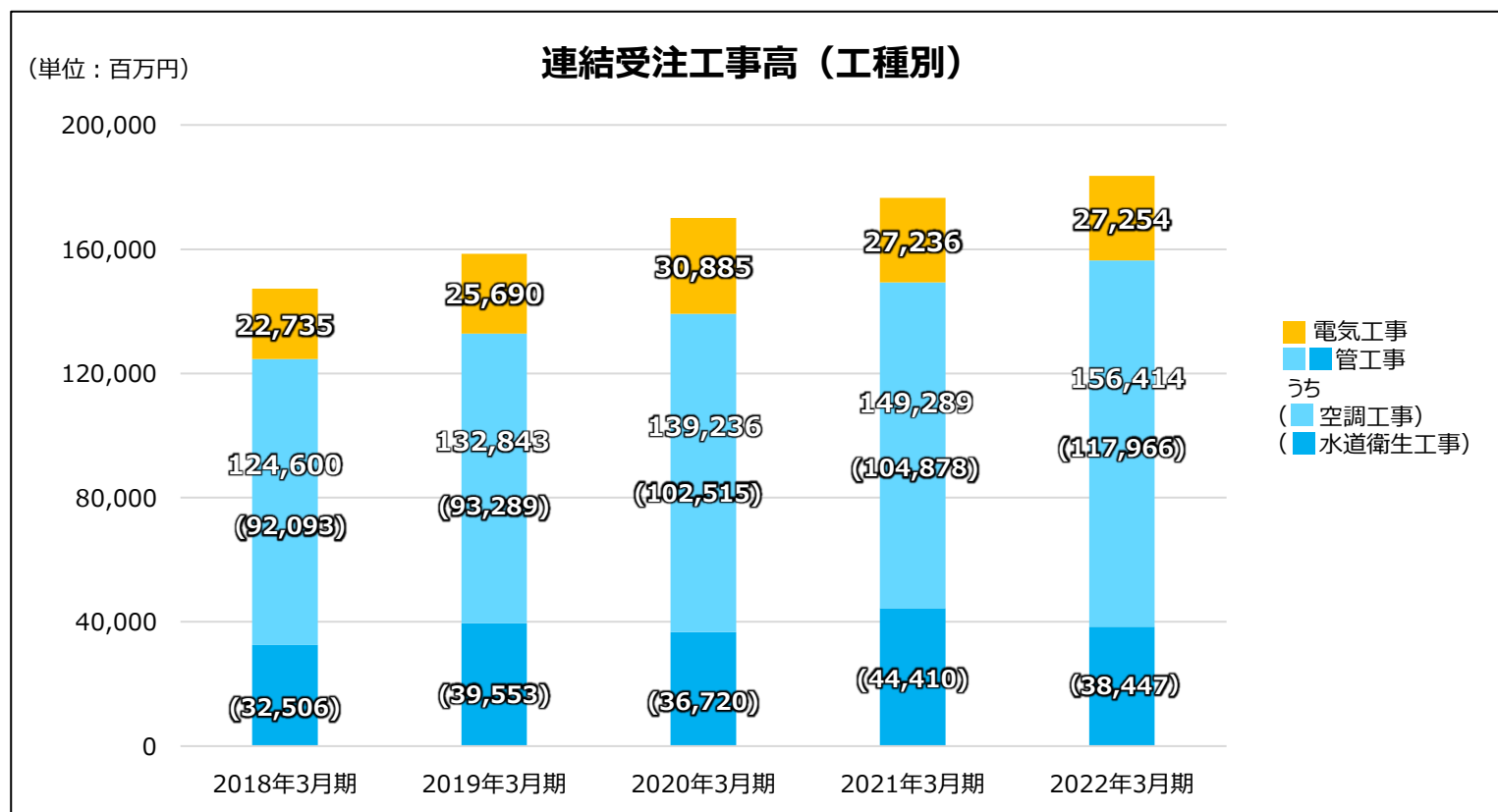


<参考>
DATA FILE
〔通期〕

連結受注工事高（工種別）〔通期〕

(単位：百万円)

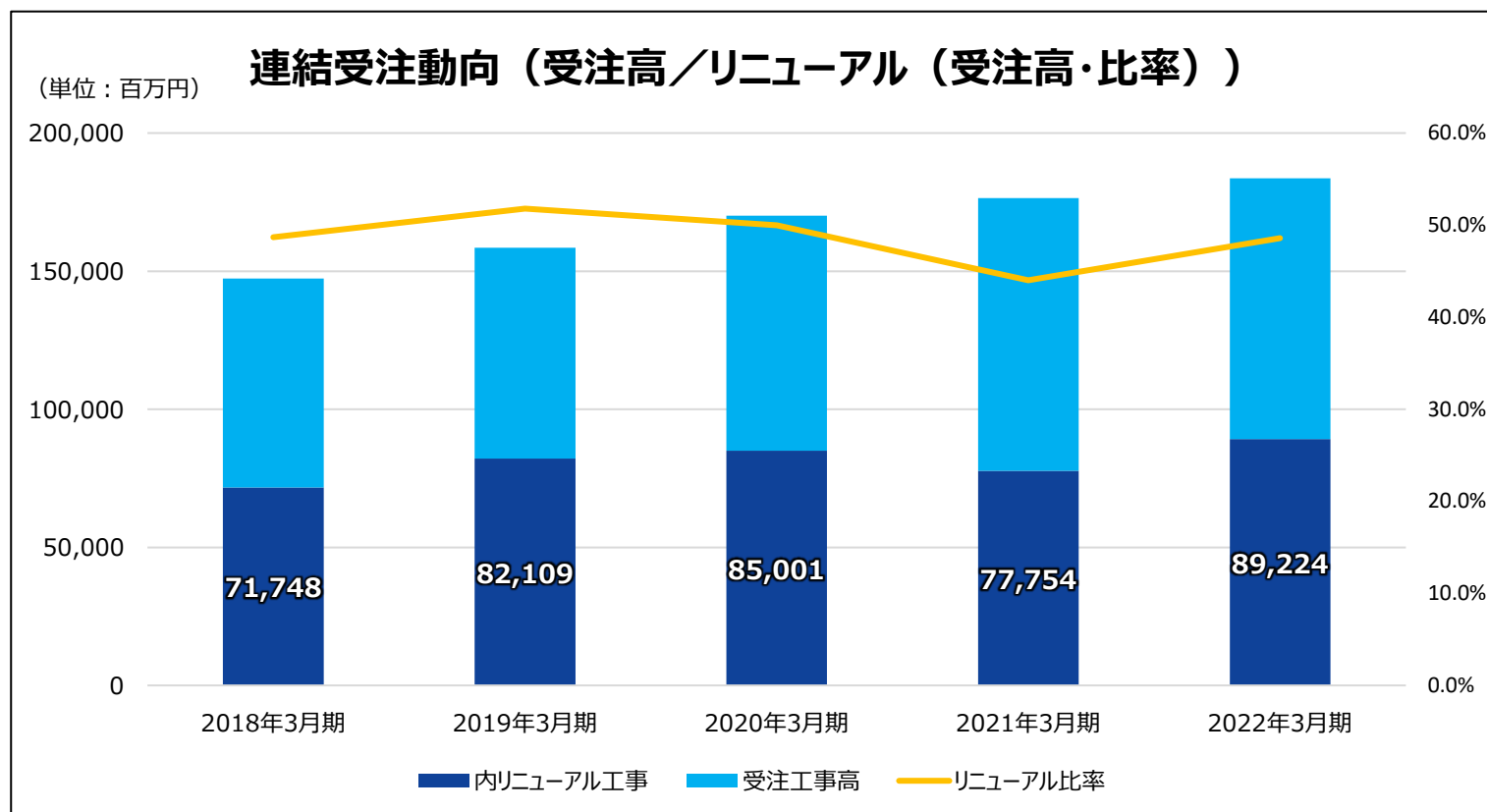
		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
電気工事		22,735	25,690	30,885	27,236	27,254
管工事	空調工事	92,093	93,289	102,515	104,878	117,966
	水道衛生工事	32,506	39,553	36,720	44,410	38,447
	小計	124,600	132,843	139,236	149,289	156,414
合計		147,335	158,533	170,121	176,526	183,668



連結受注動向（受注高／リニューアル）〔通期〕

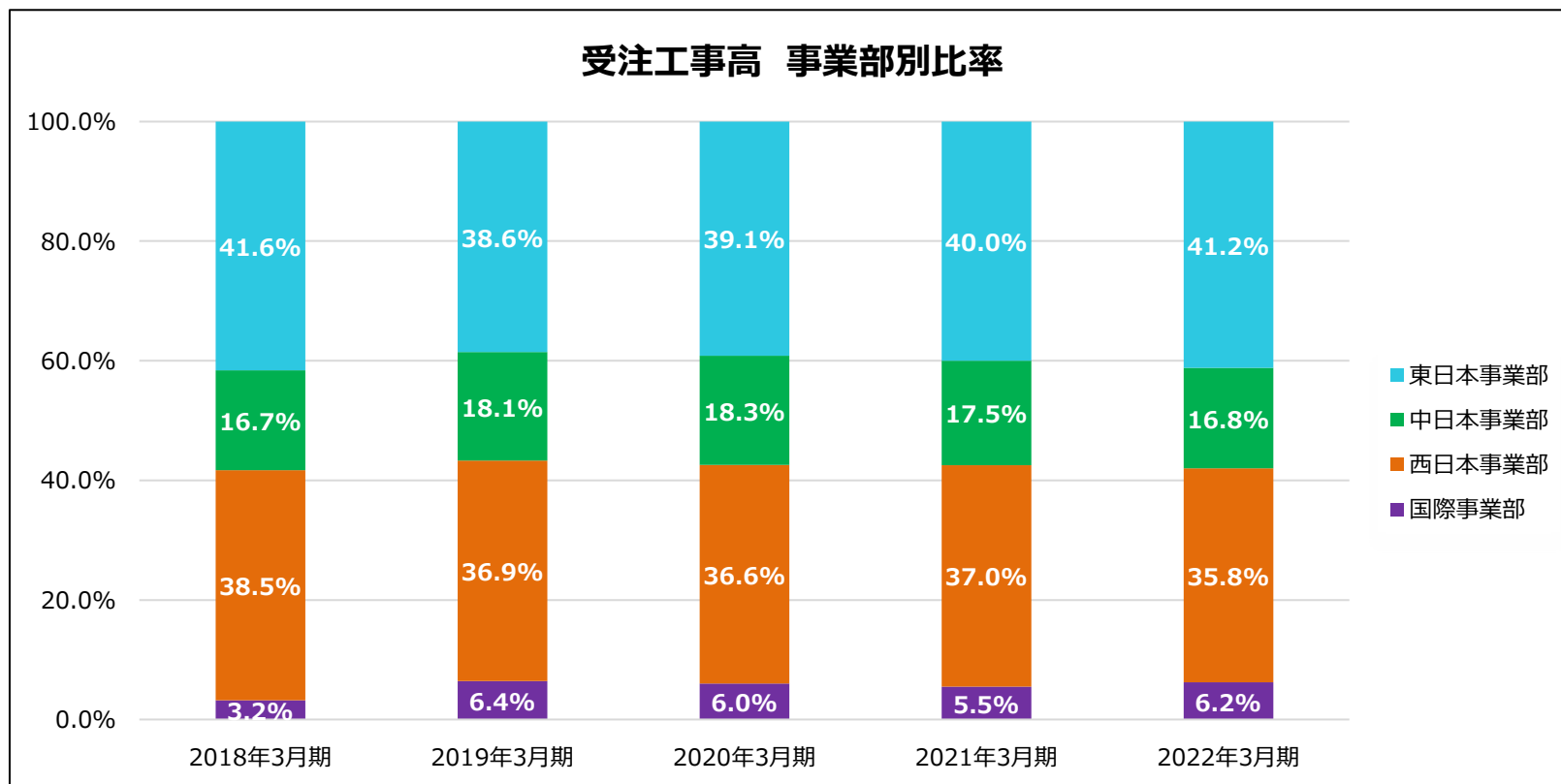
（単位：百万円）

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
受注工事高	147,335	158,533	170,121	176,526	183,668
リニューアル工事	71,748	82,109	85,001	77,754	89,224
リニューアル比率	48.7%	51.8%	50.0%	44.0%	48.6%



受注工事高比率

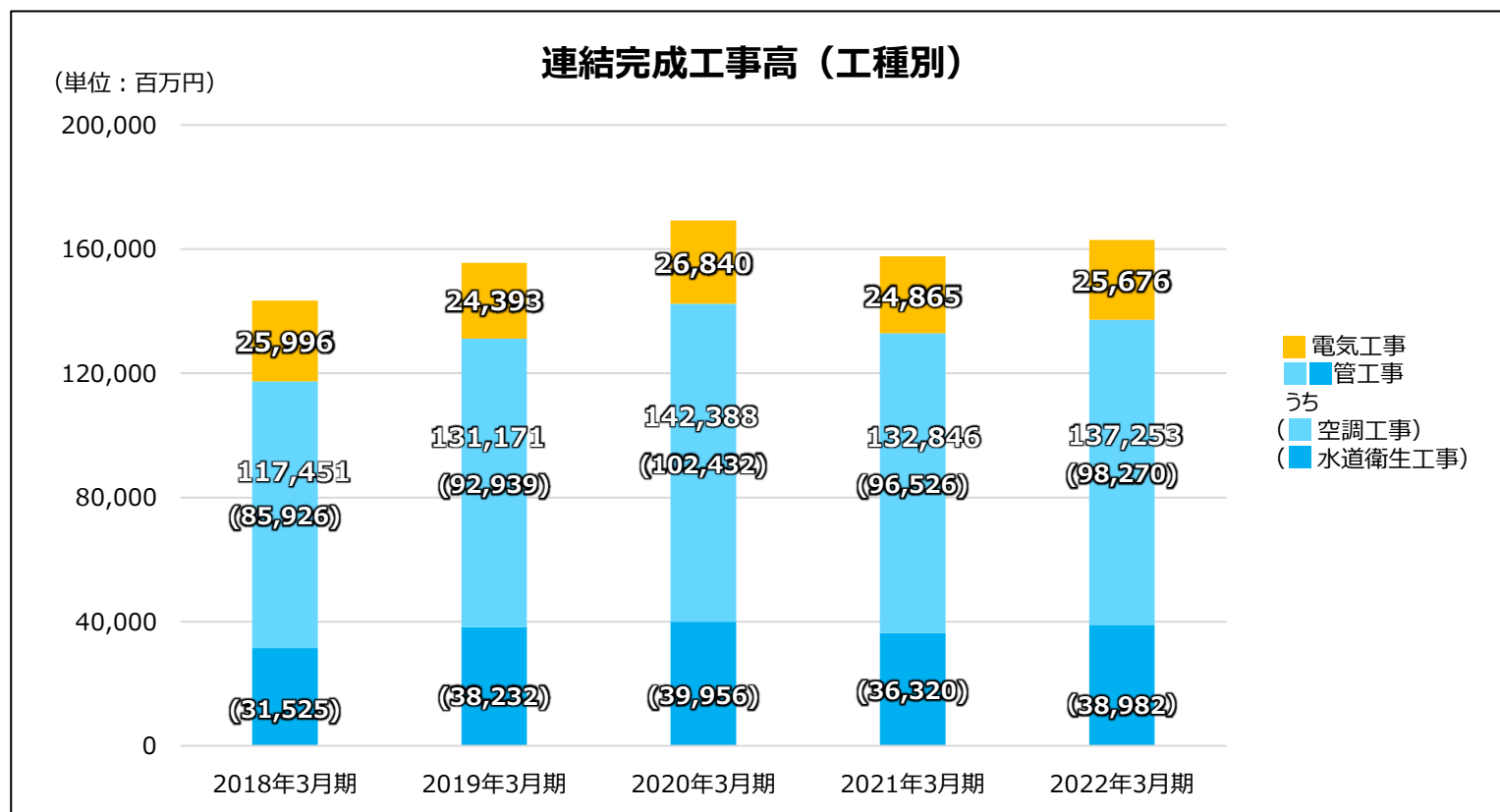
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
東日本事業部	41.6%	38.6%	39.1%	40.0%	41.2%
中日本事業部	16.7%	18.1%	18.3%	17.5%	16.8%
西日本事業部	38.5%	36.9%	36.6%	37.0%	35.8%
国際事業部	3.2%	6.4%	6.0%	5.5%	6.2%



連結完成工事高（工種別）〔通期〕

(単位：百万円)

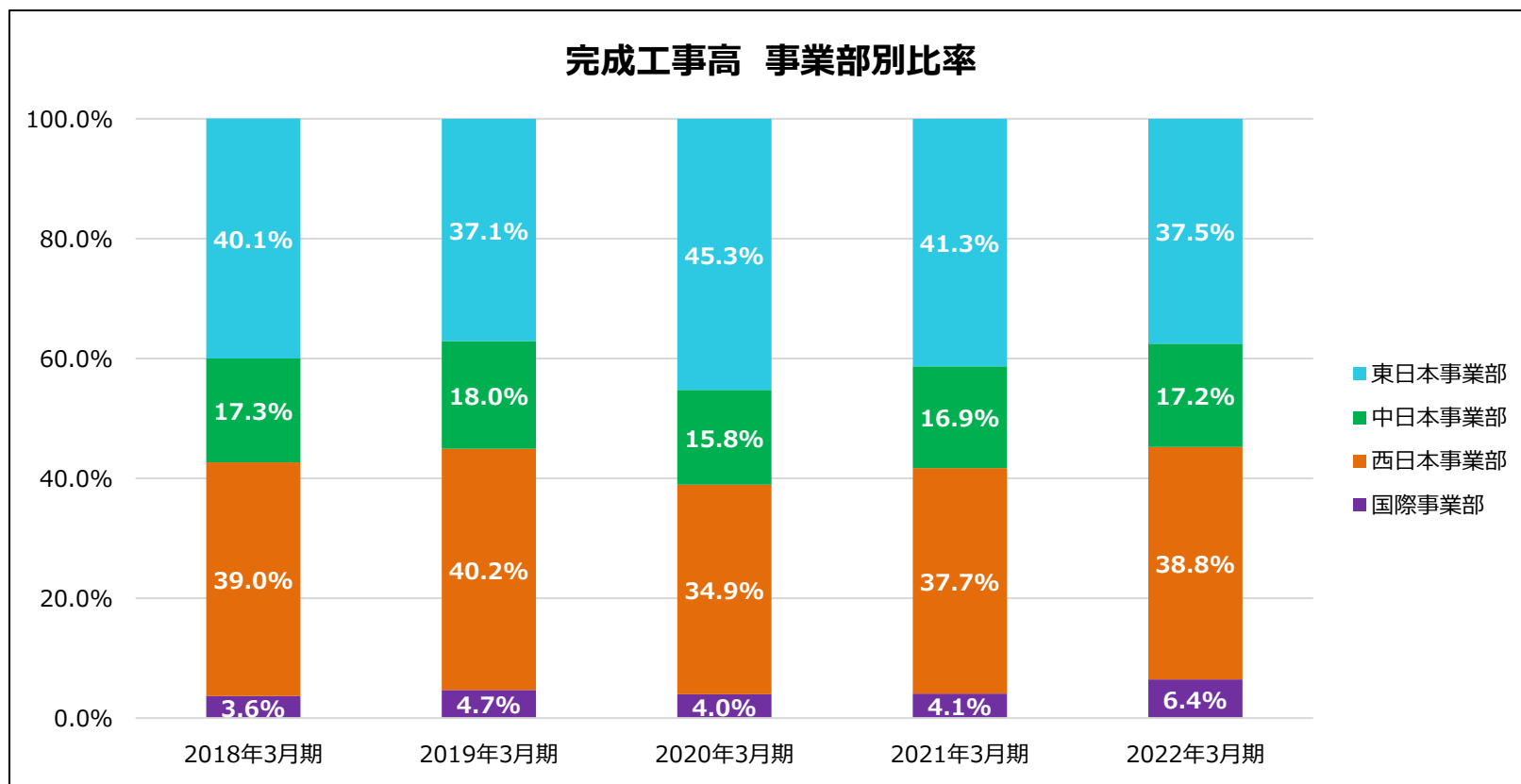
		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
電気工事		25,996	24,393	26,840	24,865	25,676
管工事	空調工事	85,926	92,939	102,432	96,526	98,270
	水道衛生工事	31,525	38,232	39,956	36,320	38,982
	小計	117,451	131,171	142,388	132,846	137,253
合計		143,448	155,565	169,229	157,712	162,929



連結事業部別完成工事高比率〔通期〕

完成工事高比率

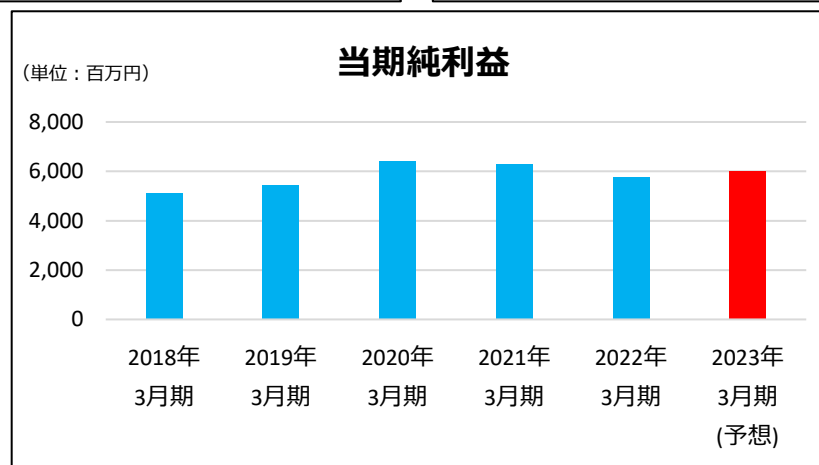
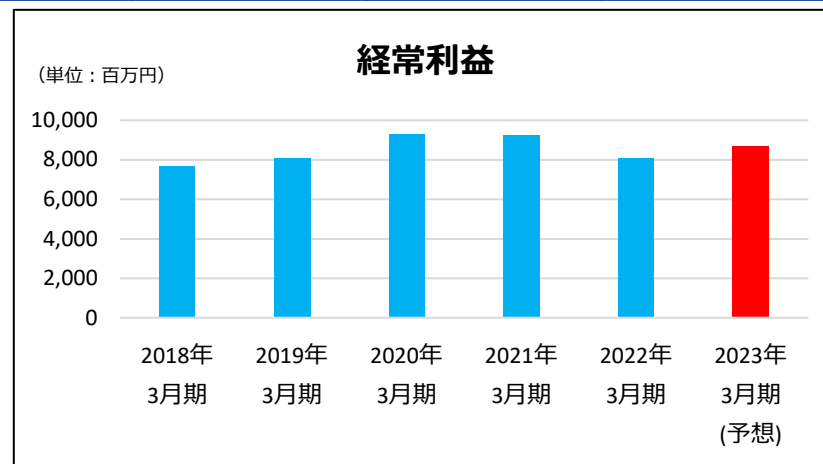
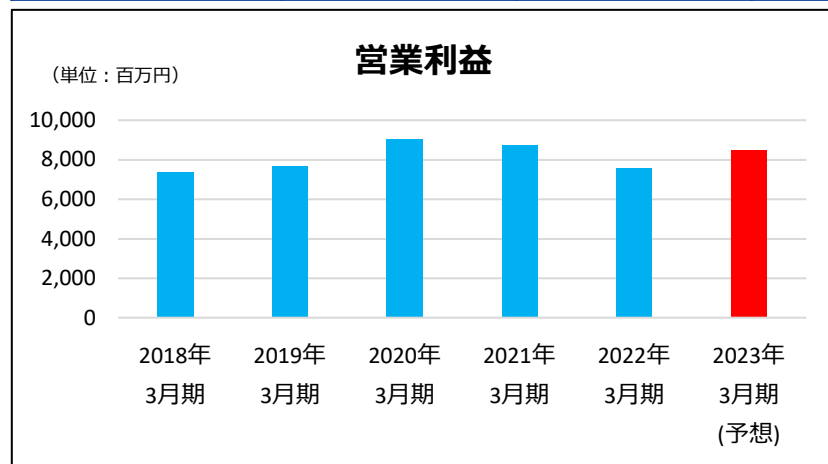
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
東日本事業部	40.1%	37.1%	45.3%	41.3%	37.5%
中日本事業部	17.3%	18.0%	15.8%	16.9%	17.2%
西日本事業部	39.0%	40.2%	34.9%	37.7%	38.8%
国際事業部	3.6%	4.7%	4.0%	4.1%	6.4%



連結業績利益（営業／經常／当期）〔通期〕

(単位：百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年3月期 (予想)
営業利益	7,385	7,661	9,063	8,754	7,584	8,500
經常利益	7,674	8,057	9,282	9,262	8,095	8,700
当期純利益	5,109	5,464	6,399	6,318	5,778	6,000



免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

経営企画室 コーポレートコミュニケーション部：電話 03-5276-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10